

一 般 (個 人) 質 問 通 告 一 覧 表

令和 7 年 第 1 回 笠 岡 市 議 会 定 例 会

3 月 7 日 ・ 1 0 日 ・ 1 1 日 (3 日 間)

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 藪田 誠二郎	1 「吃音症の理解」について	<p>吃音症とは、言葉がどもり、最初の言葉が出にくかったり、同じ言葉を繰り返すなどの症状が出る言語障害の 1 つです。人によっては言葉がまったく出ないで息だけが漏れる状態もあり、これを難発といますが、息ができないで幼少期に症状が見られ、自然に治癒する人も多いのですが、一生付き合っていかなければならない人もいます。吃音は、からかいの対象になったり、人と会話することに苦手意識を感じるようになったりと、コミュニケーションを図る上で悩みを抱える人が多く、子供の場合、不登校につながるケースも少なくありません。そこで、本市の吃音症の理解についてお尋ねします。</p> <p>(1) 吃音を持った子供たちが相談する仕組み、サポート体制はどのようになっているのでしょうか。また、サポート体制の一つに笠岡市では、早くから「ことばの教室」という素晴らしい組織がありますが、どのようなサポートをしてくれるのでしょうか。また、どのような仕組みでこの教室と出会うことができるのでしょうか。</p> <p>(2) 3 歳児健診の吃音の有無を尋ねる項目について、国が作成したガイドラインには項目はあるものの、1.2%程度の自治体でしかなく、2～4 歳のときに吃音が始まる子供も多く、親など周りの方たちの理解とサポートがとても大切です。3 歳児健診で発症が確認された場合でも 9 割は自然に治るようですが、その</p>	<p>教育長</p> <p>関係部長</p>

	<p>2 「笠岡市幸福度・ウェルビーイング(Well-being)」について</p>	<p>ときに適切な接し方，御両親の心のケアも必要となります。</p> <p>本市では，3歳児健診時に吃音に対してどのような対応をしていますか。</p> <p>(3) 吃音を患った方は言語障害の一種ではありますが，障害のサポートがあるわけではありません。吃音者は絶妙なバランスの中で生活しており，状態がいいときと悪いときがあり，一つ歯車が狂うと急激に悪化してしまうこともあります。社会を生きる中で，理解が足りないことで無意識に傷つけてしまうこともあります。そこで，笠岡市民に対して，吃音だけではなく，吃音を通じて，様々なマイノリティ，個性を受け入れ合える社会になるためのメッセージを込めて，吃音の知識を深めるための配布物を作ることは可能でしょうか。</p> <p>(4) 同じく，吃音のサポートができるよう関係者，先生方に，吃音についての出前講座など知識を深める研修をしていただくことは可能でしょうか。</p> <p>最近，ウェルビーイング(Well-being)という言葉がよく聞かれるようになりました。「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」という意味です。WHO(世界保健機関)は，「健康とは，病気ではないとか，弱っていないというわけではなく，肉体的にも，精神的にも，そして社会的にも，全て満たされた状態(Well-being)にあること」と伝えています。似た言葉にハピネス(Happiness)がありますが，これは一時的な幸せを指します。日本政府も国家戦略として「経済財政運営と改革の基本方針2024(骨太の方針)」に，Well-beingは，「5つのVision」の1つに</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p>
--	--	--	----------------------

		<p>位置付けられており、石破総理の所信表明でも、官民で総合的な「幸福度・満足度」の指標を策定し、一人一人が豊かで幸せな社会の構築を目指すと伝えられました。そこで、本市の「笠岡市民幸福度・ウェルビーイング(W e l l - b e i n g)」についてお尋ねします。</p> <p>(1) 栗尾市長は、市民の幸せの追求という言葉を使い市長としての責務を果たそうとされています。令和6年6月の個人質問で幸福度について質問したときには、幸せは一人一人違うという理由で判断が難しいと言われましたが、成果を数値化できる指標を、デジタル庁が既に「地域幸福度(W e l l - b e i n g)指標」をどの自治体でも活用できるように準備をしています。</p> <p>今後、本市でも積極的に活用することはできないでしょうか。</p> <p>(2) デジタル庁「地域幸福度(W e l l - b e i n g)指標」で、笠岡市の指標を見ると、主観データは低く、客観データは高いものも少なくありません。つまりこれは、市政が努力して形になっているものが、市民の理解、また満足度につながっていないという意味でもあります。そのことについてどのような見解をお持ちでしょうか。また、どのような対策が考えられるでしょうか。</p> <p>(3) 東京都荒川区は20年前よりGAH(荒川区民総幸福量)という取組をしています。「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン(事業の領域)を掲げ、区民と職員の意識改革を進めてきました。実際、同区に視察に行ったとき、関係職員たちが拍手で迎えてくれるなど、とても心温まる歓迎を受けました。行政はホテルではあり</p>	<p>市 長</p> <p>関係部長</p> <p>市 長</p>
--	--	--	-----------------------------------

	<p>3 「笠岡市財政健全化プラン作成の目的」について</p>	<p>ませんが、本市でも来客者や市民に、心温まる思いやりを表現できるなら、本市の幸福度も上がり、笠岡市の評価も高くなると思われます。本市で、こうした小さな幸せ運動として取組ができないでしょうか。</p> <p>笠岡市財政健全化プランが出され、パブリックコメントも過去にない数が集まりました。その中で、多くの方が指摘されていましたが、財政調整基金、つまり貯金がありません。そのため、財政再生団体になる可能性を回避するため、笠岡市財政健全化プランが作成されています。しかし、本市の経営は岡山県下でも特別悪いわけではありません。そのような現状で、笠岡市民に対しては不安と不信感が広がり、また、全国へは本市のネガティブな印象が拡散された状況を見ると、もっといい方法はなかったのかとの声が多く聞こえてきます。そこで、笠岡市財政健全化プラン作成の目的についてお尋ねします。</p> <p>(1) パブリックコメントの回答では、経営は健全ですが、急激な物価高、人件費の高騰などに今の財政調整基金では対応できないため、実質赤字比率が12.9%を超えてしまうと、早期健全化基準となり、20%を超えると財政再生団体、つまり夕張市のような可能性があるかと回答されていますが、このことをもっとわかりやすくお聞かせください。</p> <p>(2) 今回の笠岡市財政健全化プランの中で、ソフト事業を縮小、廃止が多くありましたが、全ての事業は誰かの思いが集まったものでもあります。そこに長く関わる中で、そこに集う人たちが小さな喜びを見出すこともありましたが、それを壊すことにもつながります。今回の事業の縮小、廃止の中</p>	<p>関係部長</p> <p>市長</p>
--	---------------------------------	---	-----------------------

		<p>には、市民の幸せを追求する上で、本市への不信感につながるものもあります。</p> <p>そのことに対する見解と共に、本市がコミュニティの役割をどのように考えているかお聞かせください。</p>	
2 井木 守	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 住環境の整備・充実と市営住宅の管理・有効活用について</p>	<p>栗尾市長は、笠岡市財政健全化プラン(素案)発表に先立ち、8月に市民への説明会を各地で開催されました。また、8月の議会全員協議会の場でも「市民の皆様にも、現在の財政状況について丁寧に御説明し、御理解いただけるよう努めてまいります」と発言しています。</p> <p>しかし、12月議会では、笠岡市財政健全化プラン(素案)については改めて市民への説明会は行わない旨、発言されました。パブリックコメントでは、155者(団体・個人含む)から748件の意見が寄せられており、市民の関心の高さを示しています。</p> <p>市長は、「対話」と「調和」と「連携」により、夢と笑顔が広がるまちづくりをスローガンに掲げているが、笠岡市財政健全化プランについて対話姿勢が見えないのはなぜか、お答えください。</p> <p>笠岡市の住政策基本計画(笠岡市住宅マスタープラン)は、2021年(令和3年)に全面的な見直しがされています。</p> <p>その中で、市内の空き家率は16%から23%になっていること、借家では最低居住面積水準を満たしていない世帯が増加していることなど、市民の住生活に関わる様々な問題点が指摘されています。</p> <p>市営住宅は、市民の住宅セーフティーネットとして、重要な役割を果たしていますが、現状では非常に老朽化が進んでいます。笠岡市住宅マスタープランでは、「老朽化した市営住宅ストックの更新に合わせて、小規模団地の集約移転</p>	市 長

	<p>を進めると共に、市営住宅の統廃合に際しては、需要に応じて福祉・子育て・防災などの拠点施設の併設も検討するなど…」とあります。一方で、笠岡市財政健全化プランの下では、市営住宅富岡団地の建て替えは「凍結」とされています。</p> <p>市民の住環境の整備・充実と、特に市営住宅の管理・有効活用について、以下質問します。</p> <p>(1) 「空き家にしない対策」が重要だと指摘されているが、本市の空き家対策について、現在の取組はどうなっていますか。</p> <p>(2) 市営住宅の集約移転について、将来的に市営住宅は何戸程度維持する予定ですか。また、集約移転の予定スケジュールはありますか。</p> <p>(3) 建て替え予定の市営住宅富岡団地の居住者に対する住み替えの提案等はどのように進められていますか。また、一部の市営住宅は、住み替え予定者のために確保しているとのことですが、建て替え予定が「凍結」の中で当面、必要性が乏しくなっているのではないですか。</p> <p>(4) 一部の市営住宅は、特にエレベーターのない市営住宅の高層階は空き室が多く、応募も少ないと聞きますが、対策は講じていますか。</p> <p>(5) 笠岡市住宅マスタープランにある「市営住宅の統廃合に際しては、需要に応じて福祉・子育て・防災などの拠点施設の併設も検討」とありますが、具体的にお示してください。</p> <p>笠岡市民病院のパワーハラスメント問題が、新聞紙上で取り上げられました。笠岡市民病院内、また本市としての実態調査について、以下、お尋ねします。</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	
	<p>3 笠岡市民病院のパワーハラスメント問題について</p>		

		<p>(1) 調査の結果、パワハラの実態は明らかになっていますか。</p> <p>(2) 新聞報道によると 2021 年以降、看護師の中途退職が 22 人に上るとあり、異常事態だと思いますが、市はどのように認識していたのですか。</p> <p>(3) 笠岡市民病院内でのパワハラ根絶のために今後どのような対策を講じるのか、お答えください。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
3 西山 博行	1 庁内における D X 推進について	<p>本市では、市民サービスの向上と行政運営の効率化を目的とした「笠岡市 D X (デジタルトランスフォーメーション) 推進計画」を策定し、様々な取組を進めています。計画の策定から一定期間が経過した今、計画に基づく進捗状況や達成度合いを改めて確認し、今後のさらなる推進に向けた方向性を検討することが重要です。</p> <p>特に、推進計画に盛り込まれている A I や R P A (ロボティック・プロセス・オートメーション(ソフトウェアロボットを使ってパソコン上の事務作業を自動化する技術))といったデジタル技術の導入状況や、職員のデジタルスキル向上に向けた人材育成の進捗状況は、推進計画において重要な要素となります。</p> <p>さらに、近年注目を集めている生成 A I の活用についても、庁内業務の効率化という観点から、その可能性と課題を検討する必要があります。生成 A I は、行政サービスの向上や市民の利便性向上に貢献する可能性を秘めている一方で、情報セキュリティや倫理的な問題など、導入に伴うリスクも存在します。</p> <p>これらを含め、笠岡市 D X 推進計画の現状と今後の取組について、以下の 3 点を伺います。</p> <p>(1) 笠岡市 D X 推進計画のアクションプランの基本施策で、令和 7 年度に実行する項目</p>	<p>関係部長</p>

	<p>2 小中学校における I C T 教育について</p>	<p>の進捗状況を説明していただいた上で、考えられる課題点をお聞かせください。</p> <p>(2) 地域社会のデジタル化のための「デジタル技術活用人材の育成」について、具体的にどのように取り組んでいるのか、また併せて今後の取組についてもお聞かせください。</p> <p>(3) 庁内業務の効率化を目的とした生成 A I の導入について、笠岡市としての見解をお聞かせください。導入を考えている、もしくは試験段階で、既に検証に入っている場合、具体的にどのような業務への導入を検討しているのか、導入に伴う課題やリスク対策についてもお聞かせください。</p> <p>笠岡市教育委員会は「1人1台端末の利活用に係る計画」に基づき I C T 教育を推進しています。G I G A スクール構想による I C T 環境整備後、小学校・中学校での活用状況や教育効果、教職員の働き方改革への貢献度が4年を経て見えてきたのではないのでしょうか。</p> <p>全国の公立学校には、先進的な I C T 活用の事例が多くあります。I C T を最大限活用した教育は、今後の子供たちの生きる力を培っていく基盤になると考えられます。</p> <p>そこで、笠岡市における小中学校の I C T 教育の現状と今後の取組について伺います。</p> <p>(1) 小学校・中学校における I C T 機器の活用状況、I C T 活用による教育効果や課題、今後の改善点や取組についてお聞かせください。</p> <p>(2) 大分県豊後大野市(人口約3万2,000人、小学校数11校、うち3校は施設一体型小中一貫教育校、そのほかは隣接型小中一貫教育校)の菅尾小学校(生徒数約70名)では、</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>教育長</p>
--	--------------------------------	--	---

		<p>I C Tを最大限に活用した教育により、36%の生徒が学区外からの越境通学をし、教育内容に共感して移住した複数の世帯もいます。</p> <p>本市の公立小中学校のI C T教育は決して遅れておらず、先進的な取組も多く見られます。菅尾小学校の事例は、魅力的な学校作りの可能性を示唆しており、本市でも、学校規模適正化を進める中で、I C Tを最大限に活用した教育を今まで以上に推進するべきではないでしょうか。</p> <p>教育長は教育委員会定例会で「急激に変化し予測不可能な社会を生きていく力というものをしっかり育成していく必要がある。そのためには、自分で考えて自分で判断し、そして他者と協働しながら解決していく力というものを育成していく必要がある」とおっしゃられています。そのための「子どもたちの「たい」を発揮する教育」であり、それを学ぶための総合的な学習(探究)の時間ではないかと思います。</p> <p>菅尾小学校は「地域に根ざした郷土学とI C T活用」が学校の大きな魅力になっています。またこの魅力を積極的に発信することで、菅尾小学校を選ぶ保護者が多くなり「まちづくり・まちおこし」につながっています。</p> <p>この事例から「地域学を含めたより深い学びを実現するためにI C Tを最大限活用する教育」を、本市の教育の柱の1つにし、他自治体とは違う教育の特色として打ち出すことも重要ではないかと考えますが、このことについて、どのような見解をお持ちでしょうか。</p>	
--	--	--	--

<p>4 山下 恭司</p>	<p>1 国道2号バイパス関連事業と篠坂PAスマートインターチェンジ整備事業について</p>	<p>交通インフラの発展は、物流の効率化や通勤時間の短縮、企業誘致による雇用の創出など、本市が発展するためにも必要と考えます。一方、交通量の増加により騒音や渋滞などが懸念されるところです。</p> <p>市の重要事業としている国道2号バイパス関連事業と篠坂PAスマートインターチェンジ整備事業について、以下の質問をします。</p> <p>(1) 両事業の進捗状況をお尋ねします。</p> <p>(2) 令和7年度予算が減額となっているのは、国道2号バイパスの工事の遅れが主な原因ですか。</p> <p>(3) 国道2号バイパス、篠坂PAスマートインターチェンジ周辺の大島、茂平、篠坂などの農業振興地域解除について、市の考え方、メリット、デメリットをお尋ねします。</p> <p>(4) 交通インフラの発展に伴って地域の発展を目指すには、農振解除により工場誘致や住宅建築が可能な状況をつくる必要があると考えますが、工場誘致の次に農振解除と仄聞します。</p> <p>市の見解をお尋ねします。</p> <p>(5) 県道3号線について、篠坂PAスマートインターチェンジができることによって、国道2号の陸橋付近の朝のさらなる渋滞が予測されますが、対応策をお尋ねします。</p> <p>(6) 県道3号線と国道2号バイパス茂平付近の交通渋滞が予想されると仄聞しますが、対応策はどのように考えていますか。</p> <p>(7) 篠坂PAスマートインターチェンジ開通時、県道山口押撫線の入田番所跡付近の道幅が狭く自動車等が擦れ違えない状況になると想定されますが、対応について考えをお示してください。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
----------------	--	---	--

	<p>2 笠岡市民病院の建て替え等について</p>	<p>令和9年度開院を目指して建替え事業が進んでいます。</p> <p>高齢者の人口が最大となる2040年問題や救急受け入れ、地域医療、大規模災害時の拠点病院としてなくてはならない市民病院と認識しています。また、150名の職員が働いている職場は、良好な人間関係や適切な労働条件など働きやすい職場をつくる必要があります。</p> <p>(1) 市民病院建て替えの進捗状況をお尋ねします。</p> <p>(2) 物価や人件費が高騰していますが、予算についてはどのような見解を持っていますか。また、開業予定は計画どおりですか。</p> <p>(3) パワハラが新聞で報じられ調査中ということですが、どのような状況ですか。</p> <p>(4) 働きやすい職場づくりは市の責務と考えますが、どのような施策を考えていますか。</p> <p>(5) 本来の業務でない仕事、業務に必要な情報の共有がない等の新聞報道がありました。が、病院の職制、指揮命令系統はどうなっていますか。また、どのようにマネジメントが行われていますか。</p> <p>(6) 病院がサイバー攻撃を受け、データ復旧の身代金を要求されたり個人情報の流出事例が起きています。セキュリティー対策強化と人的教育が大切と考えますが、どのような取組をしていますか。</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
	<p>3 市庁舎建て替えについて</p>	<p>市民の安全安心を守ることを考えると、市庁舎の建て替えは喫緊の課題であり、少しでも前倒しにすべきと考えています。南海トラフ地震は今後30年の間に80%の確率で起こると言われており、そのことに備える必要があります。またその時の本市の被害予測は、全壊家屋1,953棟(10%)、死傷者557人(1.3%)、避難者1万</p>	

		<p>7,700人(40%)とされています。</p> <p>市庁舎は建築後70年、議会棟は126年たち耐震対策もできていません。職員の皆さんが働いている時に地震が起きれば大変な被害が予想されます。また、災害対策本部を分庁舎に移転して対処となっていますが、機器が移動できず活動も難しい状況になるかもしれません。</p> <p>建て替えを一刻も早く進めるべきと考え、以下、お尋ねします。</p> <p>(1) 建て替えについて市長の考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 令和5年8月に発足した笠岡市新庁舎建設プロジェクトの進捗はどうなっていますか。</p> <p>(3) 昨年の9月議会で建て替えには8～9年かかると答弁がありましたが、構想はできていますか。</p> <p>(4) 笠岡市財政健全化プランでは令和13年から予算化していて、前倒しを検討となっていますが、どれくらい前倒しを考えていますか。</p> <p>(5) パブリックコメントにも前向きな意見がありました。その中で、市のコメントは財源を確保し、国にも財政措置を要望とありますが、構想など、できることから着手できないでしょうか。</p> <p>(6) 耐震診断の結果から震度6以上で倒壊または崩壊とありますが、建物に人がいた場合、どのような状況が想定されますか。具体的な避難方法についてお示しください。</p> <p>(7) 勤務中地震により被災した場合、人的災害として過失や管理の不備が問題となる可能性があると考えますが、このことについて見解をお示しください。</p>	<p>市 長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
--	--	---	--

<p>5 加藤 義久</p>	<p>1 笠岡市本庁舎の建て替えについて</p>	<p>笠岡市財政健全化プランにおいて、主な大規模ハード事業が見直され凍結事業が多い中、笠岡市役所の本庁舎建設事業は前倒しを検討することのこと。また、昨年6月定例会において真鍋議員から、9月定例会においては仁科議員から、さらに12月定例会では桑田議員から本庁舎建設事業について質問されており、「市長以下、執行部は、本事業は喫緊の課題として最優先で取り組む、前倒しを検討する」との回答であった。しかしながら、その進捗がよく見えてこないで、改めてお尋ねします。</p> <p>(1) 本庁舎は、平成25年実施の耐震診断において耐震性能が低いとされていること、災害対応の拠点として庁舎機能を維持・確保しなければならないこと、職員等の安全を守る必要があることから、早急に具体的なアクションが必要であると考えます。改めて市長のお考えをお聞かせください。</p> <p>(2) 令和元年5月28日、副市長を委員長に「笠岡市新庁舎建設検討プロジェクトチーム」を立ち上げていると聞きますが、今でも存続、活動されているのですか。</p> <p>(3) 南海トラフ巨大地震等を見据え、緊急を要することから、笠岡市の具体的な動き(事業計画、建設場所、規模、財源、市民の機運等)が必要であると考えますが、見解をお尋ねします。</p> <p>(4) 岡山県内の他市に目を向けてみると、総社市(令和7年4月21日開庁予定)、美作市(令和7年5月7日業務開始)、玉野市(令和8年6月竣工)、岡山市(令和8年度中供用開始)と建設ラッシュであり、いずれも防災機能の強化や行政窓口の集約に力点を置いています。</p>	<p>市長</p> <p>副市長</p> <p>〃</p> <p>市長</p>
----------------	--------------------------	---	---

		<p>ぜひ参考にしていただき、本市も身の丈に合った新庁舎建設に向け、早期に着手していただきたいと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。</p>	
6 山本 聡	1 公共施設の統廃合	<p>「いかに持続可能なまちづくりを進め、活力維持を図っていくのか」という、新聞の標題に「持続的市政運営へ舵」とある新春の市長の抱負では、課題として、公共施設の統廃合を挙げています。</p> <p>庁内では、組織の運営において先行する形で改組、見直しを進めています。また、DX面では、市民へ切れ目ないサービスの提供に心がけ、省力化を進めながら利便性を高めようとしています。</p> <p>まちを形づくる、組織を構成するのはそこで働く「人」ですが、少子高齢社会がもたらすあつれきを超えていかなければなりません。まちづくり機能を維持しながら次代に備えた、組織の在り方が問われています。</p> <p>一方、老朽化した庁舎や市民病院は強度や利便性に劣り、早期の建て替えが必要ですが、円安局面から金利が上昇基調をたどり、資材は高騰し、人件費も人手不足などから上がり始めたことにより、建設費は予想以上に上振れしています。限りある予算の中で優先順位をいかにつけて公共施設の統廃合を進めていくか、知恵の出どころです。</p> <p>以下、お尋ねします。</p> <p>(1) 払下げ等島しょ部の学校校舎の活用法</p> <p>(2) 貫閲講堂の在り方について</p> <p>(3) 多機能、複合施設としての新病院(庁舎)について</p> <p>(4) ソフト面でのまち(地域)組織の再編について</p>	<p>市 長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

	<p>2 ごみの減量化に向けて</p> <p>3 空き家への移住促進</p>	<p>笠岡市は市制施行 70 周年を迎えた際、カブトガニを保護する名目などでプラごみゼロ(0)宣言をし、生息地の清掃活動などを通じてプラスチックのごみ削減に努めてきました。</p> <p>SDGsにも掲げられたサーキュラーエコノミー(循環型経済)とは製品、素材、資源を可能な限り長く使用(保全)し、結果としてごみの減量を目指すものです。また、ごみ減量施策の策定や運用において、規制的手法と奨励的手法や経済的手法を組み合わせ、ポリシーミックスによる総合的な展開が、今後重要性を増していくと思われます。</p> <p>「自分のごみに責任を待つ」の観点から、ごみ発生抑制、分別の適正化、水切り推進、排出順序遵守などにより減量化は進んでいきます。あわせて、戸別収集を実施し、ごみ見える化を行うことにより、責任あるごみ出しにつながっていくことが考えられます。</p> <p>折しも一部事務組合で建設中の、新ごみ焼却場の完成後の延命や負担金の削減も期待できます。人口減少下、家庭ごみの排出量は漸減していますが、より削減効果が見込める(全国統計上)のは、家庭ごみの有料化です。</p> <p>ごみ袋有料化のメリットとデメリットについて、市の見解をお尋ねします。</p> <p>「近年、移住者らによるおしゃれな飲食店やゲストハウスなどの出店が相次ぎ、まちの風景が変わってきた」と2025年2月26日の地元新聞社説が、玉野市宇野港周辺の様子をレポートしています。2011年に設立されたNPO法人によるまちづくりです。以来、124組212人の移住や開業が実現したとも伝えていきます。移住者が地元コミュニティになじむよう交流するなど「ありとあらゆることをサポートする」そうです。</p>	<p>市長</p>
--	--	--	-----------

		<p>このNPO法人による活動ですが、行政が個人の事情に踏み込むことが難しい中、地域住民らとも連携しながら、空き家の調査や情報提供、移住の相談、まち案内など行動範囲は多岐にわたります。社説は「空き家への移住促進は人口減少が進む地域の再生に大きなカギを握る」と結論付けています。</p> <p>以下、お尋ねします。</p> <p>(1) 「うのづくり実行委員会」のような組織は笠岡に存在しますか。</p> <p>(2) 民間と行政のギャップを埋める効果がある勉強会の開催について</p> <p>(3) 定住促進センター改組後の活動方針について</p>	<p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>
7 仁科 文秀	<p>1 国道2号バイパス供用開始に伴う周辺市道整備について</p> <p>2 国道2号バイパス供用開始に伴う騒音について</p>	<p>国道2号バイパスの完成・供用開始は、(仮称)笠岡東インター以西は令和7年度末、以東は令和8年度末と計画されている。現在の国道2号の渋滞緩和に大きな効果が見込まれ、陸上交通に今までにない変化が期待される。地域の発展の起爆剤として市民も大きな関心を持っている。</p> <p>県道倉敷長浜笠岡線のすぐ東側は物流拠点などに、さらにその東の現在住宅がある地域の近くは新たな住宅用地としての開発が期待できる。</p> <p>国道2号バイパス関連事業として、周辺の市道整備を国の補助金・交付金などをもらい、事業として推進できるのではないかと、本市の見解を尋ねる。</p> <p>国道2号バイパス供用開始に伴う騒音により、生活環境への影響、健康被害が懸念される。防音壁の設置について、本市の見解を尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>関係部長</p>

	<p>3 笠岡市の子ども・子育て支援について</p>	<p>(1) 笠岡市の子供を取り巻く現状は厳しく、最近の出生数は令和5年は少し増えたものの、年間170人から190人程度で、本市より人口が少ない井原市、浅口市と同数程度である。また、社会動態は改善せず、未婚率も高いなど、課題を抱えたままである。</p> <p>こうした現状についての認識と主な対策はどのようになっているか。</p> <p>(2) 保護者へのアンケートでは、子育てや教育にお金がかかりすぎる、仕事にも差し支えるとして、子育てや教育関連の費用の低減を求める声が強い。市長が掲げている4つの無償化「放課後児童クラブ」「学校給食費」「高校生まで医療費」「保育料二人目以降」の実現が待たれるが、それぞれの取組計画と実現可能年度はどのようになっているか。</p> <p>(3) 母親の就業率の増加、フルタイム勤務の希望、多様な働き方の拡大により、平日だけでなく、土曜・日曜・祝日の一時預かり、保育サービスの利用希望が増えている。土曜日では、たまには利用したいを含めると50%以上の希望がある。</p> <p>現在、土曜・日曜・祝日も預かってもらえる制度はあるが、高額、対象年齢が限定される、預かり時間が短いなど、まだ利用しにくい点がある。保護者の立場に立って、ニーズに柔軟に対応できる環境整備ができないか。</p> <p>(4) 必要性が叫ばれながらも、なかなか進まないのが子供たちと地域との関わりの広がりや深化である。地域との関わりを増やし、地域で子供や子育てを支える環境にしておくために、本市はどう取り組むのか。</p>	<p>市長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>関係部長 教育長</p>
--	----------------------------	--	--

		<p>(5) 「子育て応援読本」や毎年発行する「子育て応援情報」はカラフルでわかりやすく、充実したものになっている。インターネット、SNSでの情報入手も増えているが、必要とする人が必要な情報を容易に得られるようにしてもらいたい。対象別（乳児，在園児，小学生など），曜日別などわかりやすい表現に変える，制度を利用した保護者や子供の喜びの声を入れる，笠岡市独自の取組を強調するなど，より身近で利用しやすい情報発信が工夫できないか。</p>	関係部長
8 守屋 基範	1 財政健全化について	<p>(1) このたびの笠岡市財政健全化プランに対してのパブリックコメントはかなりの数に及んでおり，総論的なものや各論のもの多々あるが，そもそもの財政健全化の原因・規模やその方向性(削減の明確な基準)についての丁寧な説明がされていないのに，財政再建団体となった北海道夕張市のようにするという脅しのような手法で，押しつけの健全化プランを提案している。そもそもそのスタートに大きな疑問を持っている。</p> <p>また，パブリックコメントへの回答のみで済ませるのは，市長の「対話」という方針からはかけ離れていると思うが，市の見解を尋ねる。</p> <p>(2) 総論の部分でもいろいろな意見が出されていた。しかし，総花的に，このままでは単年度赤字となり，財政調整基金を取り崩して補填していると，令和9年には財政再建団体になる，との一律な回答でした。</p> <p>根本的な財政状況について明確な回答がないままに，年間10億円，10年間で100億円の赤字が生じるので，財政再建団体に</p>	市長 ”

		<p>ならないためにこの財政健全化が必要という説明に納得できない方が多数いらっしゃる。そうであるならば、本市の財政の現状を、財政担当者から市民にお知らせする財政説明会等の開催も必要だと考えるが、市の見解を尋ねる。</p> <p>(3) 人口減少社会に加えて、昨今の物価の急上昇に伴い、財政のやりくりについては苦慮する所ではある。</p> <p>しかし、対市民との交渉をする職員も削減ありきで、「財政が苦しいから」という理由によって、市民との「対話」ではなく「対立」になっている。</p> <p>現状を一番よく知っている担当部の裁量がなく、一律削減の指示の下、団体とのやり取りが平行線で無駄を重ねている現状についてどう考えるか。</p> <p>(4) 特別交付税措置で、国からの財源確保されている事業については継続の方向性で取り組まれているようだが、今まで一般財源で行っていた事業でも、特別交付税措置を講ずることにより継続できる事業については復活を検討する余地はないか尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>”</p> <p>市 長</p> <p>”</p>
	<p>2 新年度予算について</p>	<p>(1) 笠岡市財政健全化プランにより、10億円程度の削減と5億円の行革債の借入れをするという中で、新年度一般会計予算は、過去最大の275億円になると報道されている。市民の方々に対しては、これまでの財政健全化に矛盾する内容となっている。その内容を尋ねる。</p> <p>(2) 財政健全化の中での栗尾市政の初めての新年度予算となる、市長が目指す笠岡像、そして、何よりも優先した新年度の施策について尋ねる。</p>	<p>市 長</p> <p>”</p>

		<p>(3) 国の物価高騰対策に準じて、本市でも対応策を各分野にわたり検討され、具体的に施策として提案されている。</p> <p>(ア) 笠岡諸島の離島航路燃料価格高騰対策支援事業として、補助航路以外の航路事業者への支援が予定されている。</p> <p>航路再編への事業者との話し合いを、市長自らも出向いて進めるとのことであったが、その進捗状況を尋ねる。</p> <p>(イ) 笠岡市内の指定管理事業者において、物価高騰や人件費アップに伴う指定管理料金の赤字補填等について、考えを尋ねる。</p> <p>(ウ) 蛍光灯の2027年問題として、製造・輸出入が2027年までに段階的に禁止される。それに伴い、省電力化の観点からも、LEDの設置が事業所・家庭・街路灯に至るまで幅広い対応が求められる。これらに関連した物価高騰対策の事業について尋ねる。</p> <p>(4) 観光施策について、令和7新年度の観光事業の目玉について尋ねる。</p> <p>(5) 地域コミュニティ等について</p> <p>(ア) 令和7年度に、まちづくり協議会や公共施設の使用料見直しを計画する方向性を持っているとの話があったと思うが、今後の予定について尋ねる。</p> <p>(イ) 今井地区を想定して進められているまちづくり協議会と公民館との拠点づくりの方向性について尋ねる。</p> <p>(ウ) 敬老会・市美展の今後について尋ねる。</p>	<p>市長</p> <p>関係部長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p> <p>市長</p> <p>〃</p> <p>関係部長</p>
--	--	---	---